

古来、めぐる季節に人の世の移り行きを思うことが多い。ことしの春は、よりいっそうその感が深い。

われわれ同志社大学国文学研究室にとって、何人にも代えがたい指導者であった土橋寛教授の退職のことがあるからだ。古稀の年とて慶賀の意を表すべきであるが、その一方では、先生の醫咳に接する機会が少なくなるのではないかという寂寥の思いを消すことができない。

ともあれ、先生のさらなる御健勝と、後学へのよりいっそうの御指導を願いつつ、ここに同志社国文学のささやかな一巻を土橋寛教授退職記念号として捧げることを許されたい。

本号を飾るために、東京経済大学坂下圭八教授から玉稿を寄せられたことは望外の喜びであった。さらに、本学の寄稿者南波浩教授に対しても深く感謝する。また、土橋寛教授の近影は本学卒業生の生形貴重君によることも記しておきたい。

なお、土橋寛教授の御経歴、研究業績等は土橋寛教授古稀記念論文集「日本古代論」に掲載予定であることを付記する。

(広川勝美)

執筆者紹介

南波 浩……本学教授

阪下圭八……東京経済大学教授

安永武人……本学教授

河野仁昭……同志社史史料編集所主任本学嘱託講師

玉井敬之……本学教授

水上 勲……兵庫県立尼崎西高等学校教諭

帝塚山大学非常勤講師

中 周子……本学昭和五十三年卒業生

明川忠夫……同志社香里高等学校教諭

吉野政治……京都府立東陵高等学校教諭

(題字 土橋 寛)

投稿規定

国文学会機関誌「同志社国文学」は、会員諸氏の研究発表の場であり、まずから進んでご投稿下さい。枚数は四百字詰三十枚以内。第十四号締切は昭和五十四年九月末日厳守。ただし、掲載論文の数には限度がありますので、論文の採択は編集委員会に一任して下さい。

同志社国文学 第十四号

昭和五十四年三月一日 印刷
昭和五十四年三月五日 発行

編集者 同志社大学国文学会

編集責任者 玉井 敬之

発行所 京都市上京区烏丸今出川
同志社大学国文学会

振替 京都二七三七

印刷所 京都市右京区西院久田町
共同印刷工業株式会社